

パンタナル通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2017年5月1日 164号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

マラクージャ
(クダモノトケイソウ)



レダ基地の五月



パパイヤ



メロン



ヒマワリ



カボチャ



インゲン

諸人來たれ、レダは常葉の緑!

南半球の五月は、北半球の十一月に相当し、東京なら晩秋です。でもそれは、温帯地方の話。亜熱帯気候のレダ基地では、野菜や果実が相変らず豊かに実り、生きものたちの生命を育み続けています。

上の写真は、いずれも五月に撮影したものです。でも言われなければ、何月の写真なのか分かりません。気温、水、土壌養分などの条件が整えば、時季を問わず育ち、花を咲かせ、実を結ぶ植物がたくさんあるからです。もちろん、作物として育てる場合、対応の世話をする必要があります。植物は正直で、手間をかけてやれば、必ず応えてくれます。

温室は不要。露地栽培で十分な農業生産が可能な当地ですが、独特の問題があります。一つは堅い土。根菜類や軟弱野菜を栽培するには、堆肥や緑肥をたっぷりとし、ミミズが棲めるまで土壌改良が必要です。そして野鳥軍団の襲来。学習能力が高く、遠慮というものを知らない鳥たち。穀類、豆類をはじめ、食べられるものは徹底的に食べ尽くします。家庭菜園や果樹園を守るだけでも、容易ではありません。

広大な南米大陸の中央部、人口の超過疎地帯であるチャコ地方。今までは、「誰も住みたくなかった」「見捨てられた地」と言われてきました。そこにどんな可能性が秘められているかさえ、ともに研究されて来ませんでした。チャコは、手取り早く富を得たい人々には向いていないのです。

チャレンジ精神に満ちた若者、研究心に富む学生たち、人生で培った技を持つ熟年たち、そして、すべての被造物に創造主の愛が埋め込まれていることを確信できる皆様! 原初の息吹あふれるパンタナルに来て、見て、触って、その声を聴いてください。あなたの先にある、生きとし生けるものの福地を、共に力を合わせて開拓しようではありませんか。

②北西



①北



LEDA AHORA

④西



③南東



心境は、青年のような気持ちで、「昂」の歌のように、心の命ずるままに行きたいとのこと。かつてライン河畔を歩いたように、雄大なパラグアイ川の堤を夫婦で歩き、それを世界中の家庭にも勧めたいと、素敵なロマンで結びました。

伊達氏にインタビュー 一時帰国中の伊達勝見氏に、恒例の質問をしました。**Q** 担当業務は？
A 本来は植樹の担当ですが、多くの仕事を兼任しました。発電機の操作、週刊レポートの作成、野菜や果物の収穫なども行いました。**Q** 最も苦心したことは？
A 自分の体力を維持しながら、やるべき事柄をいかに効果的に行うかということです。農場や植樹園の除草、肥料作り、剪定、灌



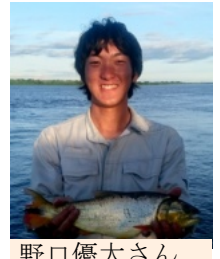
豊村氏 (69)

豊村氏はレダに二度行つたことで「ここは残された人生で行く道だ」と確信したと言います。今の

は各々重責を任せて目いっぱい働いているが、人材があまりに不足なことなどを、率直に語りました。豊村氏はレダに二度行つたことで「ここは残された人生で行く道だ」と確信したと言います。今の

豊村氏が帰国報告

四月九日の定例集会で、七日に帰国したばかりの豊村泰洋氏がレダでの体験を報告しました。「レダは私自身の原点に帰らせていただける場」という言葉に始まり、清掃の大切さを再認識したこと、基地スタッフ



野口優太さん

奉仕している青年、野口優太さん(22)が、持参したドローンを用いて、上空からレダ基地の撮影に成功しました。レダ基地は年間を通して風の強い日が多く、小型ドローンの飛行と操縦は困難の連続でした。

しかし大気の安定した日を選んで根気よく挑戦し続け、先月初め、動画撮影に成功しました。奥迫さんの研究(四面参照)をはじめ、こうした若者たちによる新たな創造力が発揮されることで、レダプロジェクトの近未来に、また新たな地平線が見えてくることでしょう。



羽田空港にて。(後藤氏撮影)

を述べています。レダで魚肉や豚肉の加工食品を次々と開発しましたが、日本滞在中も、様々な食品加工場や、水産市場などを訪れて、研究に勤めました。木工技師の水落氏とともに、シニアボランティアの先駆者である小橋氏。さらに多くのシニアが後に続いています。

水など。**Q** 最新のレダは？
A 一昨年ぐらいから大きく注目されるようになりました。パラグアイや米国の青年リーダーの研修に用いられ、教育の場として貴重な存在になっていきます。また米国の牧師たちの来訪、在パ日系人の訪問と国際交流の場としても大切になってきています。**Q** 日本でしたい事は？
A 今までの歩みの整理と、必要事項の学習、多くの人々にレダの紹介をしたいです。トラフグの養殖場も見学したいです。**Q** 将来の抱負は？
A より計画的で、効果的な植樹活動をレダで行いたいです。またレダの情報提供も充実させたいです。そしてレダに人々が定住できる快適な環境作りに少しでも貢献できればと思っています。**Q** 日本の皆様に一言
A レダは多くの人材を必要としています。特技のあるなしを問わず積極的に関心してください。中期、長期に滞在できる青年も歓迎です。レダに役立つ情報とか助言を送っていただければ有り難いです。現場では電気技師、機械技師、総務等の人材、中古トラックなども必要です。



伊達勝見氏 (67)

小橋氏がレダに出发 四月十日、小橋恵造氏(68)が羽田空港より、元気よくレダに向かいました。空港では、ご夫人と長男、後藤総支部長、赤澤夫人が見送りました。小橋氏は前日の定例集会で「若者たちに負けられない」「宿願の魚

造りを果たす」等の抱負を述べています。レダで魚肉や豚肉の加工食品を次々と開発しましたが、日本滞在中も、様々な食品加工場や、水産市場などを訪れて、研究に勤めました。木工技師の水落氏とともに、シニアボランティアの先駆者である小橋氏。さらに多くのシニアが後に続いています。



猛魚釣りのすすめ

パンタナールは原初の息吹に満ちている。彼らの生命力とあなたの生命力とを端的に結ぶもの、それは「釣り」である。魚信が釣り糸を走り、あなたの魂に命が煌々とき、糸の先端につながった猛魚は、創造主の与えた野生を、全力で見せてくれるだろう。

★ドラーダ Dorado : カラシン目カラシニコ

金色に輝く美しい魚体。ピラニアほかの肉食魚を圧倒する勇猛ぶり。釣り師と繰り広げる壮烈な闘い。そして魚肉の美味。どれをとつ



ドラーダ

てもパンタナールの魚類の王者である。

繁殖期の雄と雌は、故郷の静かな流れに帰り、姿のよく似たピラプタンガなどと共に産卵す

る。孵化した稚魚は、同じ頃孵化するピラプタンガの稚魚などを食べることになる。そして成長しながら大河に戻り、「川の虎」の異名そのままに生きる猛魚である。

ドラーダの成魚は、尾びれの下方が食いちぎられていることが多い。川には他にもピラニアを筆頭に肉食魚が数多く棲む。王者ドラーダといえども、幼少時代を、独り水中のジャングルの掟の下で生き抜かねばならず、成魚に達した個体は選ばれた者と言える。

ドラーダは、釣り師のハリに掛かっても、おいそれと捕まったりはしない。繰り返しジャンプとローリングでハリを外そうとする。ドラーダの口は硬く、ハリが口に引っかかっ

ているだけなら、釣り糸を弛ませ、首を振ってハリを外してしまふ。逃がしたドラーダは、大きく、美しい。その悔しさを胸に、釣り師はますます闘志をかき立てられる。

★スルビ Surubi : ナマズ目ピメロドウス科

小骨がなく、焼いてよし、揚げてよし、煮てよしのグルメ魚。釣果として、最も喜ばれる魚だ。

釣るにはツビラ、サルディーナ、モハリータなどの小魚を生餌にする。フトコロの大きなハリを使い、ハリ先が餌から大きく突き出るように付ける。投げ込んだら置き竿でもよい。スルビが餌を口に入れると、竿がズルズルと沖に引かれる。1〜2mほど引かせたところで大きくフッキングする。



スルビ

一旦ハリに掛かるとまず外れない。縦横に激しく走るが、三回ほど猛烈に抵抗すると、やや大人しくなる。大物は引きの力が強いので、釣り師は踏ん張りが必要。ドラッグの調整をしないと、超大物にはラインを切られる恐れもある。スルビは、力と貫緑の猛魚である。口に歯がないので、アゴを掴んでのランディングもできる。ヒレ先は硬くて鋭いので要注意。

スルビの巣を見つけたら、ピンポイントで投げ込めば、二匹目、三匹目が狙える。巣の「主(ぬし)」を釣ると、ほどなく次の「主」が来るので心配ない。ピラニアが多い場所では、生餌を盗られてしまうので釣りにくい。スルビは商品価値が高く、大網を使った密漁に悩まされる。

★パクー Pacu : カラシン目カラシニコ

環境への適応力が高く、養殖にも適するパクー。野生のパクーを釣るには、水草の陰に棲むカニを生餌とした投げ込み釣りがお奨め。シロロウヤシの実、またはそれを模した団子でのフカセ釣りもいける。

団子は小麦粉やマンデイオカの粉を固く練って作るのが、食紅で染めると、幾分食いがよくなる。

先住民たちは3mほどの竹竿に太いライン、小ぶ



パクー

りのハリにヤシの実を付け、これで水面をチャポン、チャポンと叩いてパクーを呼び集めながら釣る。ヤシの実は硬いので、外皮にハリを掛ける。よい。ヤシの実が手に入らない季節には、団子を黒く染めて、固めに煮たものを用いる。

パクーは、引きの猛魚。強烈な引きは、たまらなく魅力。頑丈な白歯を持ち、しばしばハリ先を曲げてしまうので、一匹釣ることにハリ先を点検する。パクーは美味で、食べる機会も多いが、Y字形の小骨に注意。雑食性なので内臓の処理も早めに。

★ボガ Boga : カラシン目アノストムス科

一見コイに似ているが、ヒゲがなく、口にはネズミのような前歯がある。練り餌、トウモロコシ、カニの足などで釣れる。毎日釣りたい場合は、残飯で餌付けするとよい。生存競争の猛魚で、川の掃除屋さんでもある。もしボガがいなかったら、パンタナールはピラニアの王国になっていたかもしれない。

ボガはレポリヌス属の総称の感があり、黒っぽいもの(ピアブス)の他に、白っぽいもの、黒斑の濃いもの、目に赤いラインがあるもの(ピアウ)など多種である。現地の人々は、すべてボガと呼ぶ。



ピアブス

ヒットするとラインが風を切って唸るほどに猛スピードで泳ぐものが出て、爽快である。あまり商品価値は高くないようであるが、新鮮なボガを開き、野菜を挟んで炭火焼にし、レモン汁をかけて食べるとおいしい。(小田記)

第十三回パンタナール一日研修会

★レダプロジェクトにおける理想郷建設（柴沼）

★本物の森造りと地球環境問題救済の道(高津)

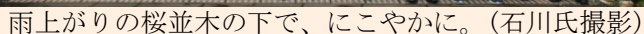
★最近の帰国者によるレダ体験報告（吉村・奥迫）

四月八日(土) 東京渋谷区代々木の国立オリンピック記念青少年総合センター、国際交流棟において、当法人とNPO地球の緑を守る会の共催により、第十三回パンタナール一日研修会が開催されました。

前日から降り続いた雨は、午前中に止みました。青空こそなかったものの、満開の花もしつとりと、情趣漂う桜並木。その花びらは美しく舞いながら、68名の参加者とスタッフ一同を迎えてくれました。

午前十時二十分、中田理事長の開会のあいさつで研修会が始まりました。最初の講義を担当した柴沼講師はますます情熱にあふれ、提唱者の理想と心情とを、当時の映像を用いて、昨日のことのようにありありと語りました。その締めくくりは「皆様がきょうここに集われたのは、レダに行くためです!」

高津講師は研修生たちを連れ、敷地内の緑地に立つタブノキを囲み、実生繁殖のできないソメイヨシ



敷地内の緑地に立
きないソメイヨシ
ノと比較しながら、
人の生命を守る本
物の森を説明しま
した。さらに高木、
中木、低木の苗木
を準備して、植樹
による森作りを奨
励。そこには提唱
者の自然に対する
深い愛を相続して
くれる多くの人々
がいました。また、
湘南の奥平家の四
人は、植樹活動を
通して幸福な家庭
を営んでいること
を証しました。

続いては、帰国
したばかりのレダ

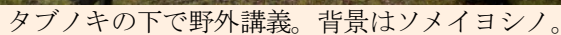
体験者によるフレッシュな報告。奥迫さんは、鮮文大の研修生として、六ヶ月にわたりレダ基地において、パクー養殖の基本技術、グリーンウォーターの効果的な生成、アクアポニクスの基礎実験、養殖と連結したタロイモ栽培などを研究した結果を、きちんと図表にまとめて発表しました。これは、本格的な研究マインドと考察力を持つ若者による、刺激的で、希望的なプレゼンテーションでした。

昨年二度にわたってレダ基地で奉仕した吉村氏（会社社長）は、パターの人工孵化における緊張した現場の闘いと、パラグアイ青年の21日研修会の成果を目の当たりに見た感動等を報告しました。また、レダで奉仕するということは、人生の残り物を捧げることでは決してなく、人生最高の精誠を尽くすことであると、自身が悟られた内的世界を語りました。

最終セッションでは、各人が四つの分科会から一つを選択。各分科会に15名前後が参加しましたが、中田理事長を囲む「レダに行きたい人」の分科会に最多の人々が集っていたのが印象的でした。（小田記）

研修会参加者の感想文より（抜粋）

● パンタナール精神は、どこでも活かしていける内



て、準備して行きたいと思います。(女性)●いろいろな体験をしたいと思っているので、ぜひ三ヶ月は滞在してみたいです。(男性)●「最終が最高でなければ」という内容が心に残りました。(女性)●美しい地球づくりに一役買いたかったです。(女性)

活かしていける内
 容だと思えます
 ので、しっかりと
 と生活の中で実
 践するように心
 がけたいと思い
 ます。(男性) ●
 霊界に行く前に
 宇宙の星々をこ
 の目で見たいで
 す。(女性) ●こ
 れから自分で何
 ができるかを考
 えて、少しずつ
 でも参加できれ
 ばと思います。
 今後がとても楽
 しみです。(女性)
 ●行く日を夢見

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口 3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）

記号10280 番号6 1 349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: office@asd-nsa.com

ホームページ: asd-nsa.com

会員種別

- ♠ 会員一口1000円／月
- ♠ 特別会員一口1万円／月
- ♠ 法人会員一口1万円／月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名：シャ) 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申しつけ
ださい。ホームページからも入手できます。

お便り募集

